

草の根・人間の安全保障無償資金協力

「チクワワ県ンチャロの洪水被災地におけるモントフォート病院
手術棟建設計画」

起工式

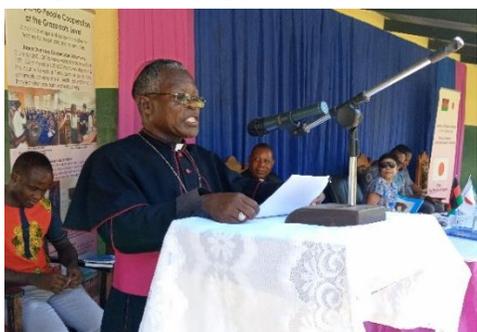
2019年11月8日



定礎を行う柳沢大使



スピーチを行う柳沢大使



(左) スピーチを行うムシクワ・カトリック・チクワワ大司教



(右) スピーチを行う保健・人口省チクワワ県ムベセ・コーディネーター



(左) スピーチを行うンガブ最高チーフ



(右) 手術室の現状説明を受ける柳沢大使



踊りに加わる柳沢大使



紹介を受ける建設会社職員

2019年11月8日、チクワワ県ンチャロ地区において、草の根・人間の安全保障無償資金協力「チクワワ県ンチャロの洪水被災地におけるモントフォート病院手術棟建設計画」の起工式が行われました。式典には、ムシクワ・カトリック・チクワワ大司教も列席しました。

今後1年以内に完成が予定されている手術棟により、妊婦や一般患者への緊急・一般外科医療が改善され、地域の妊産婦死亡率の低減が期待されます。柳沢大使は、モントフォート病院関係者に対して、手術棟に必要な医療機器の調達を確実にを行うよう呼びかけました。

柳沢大使は、式典前に現在の手術棟視察を行い、古い建物であるにもかかわらず、行き届いた施設の維持管理と病院スタッフの適切な対応に感銘を受けたことを伝え、「これまでの適切な病院施設維持管理と同様に、新手術棟の建設工事にも細心の注意を払い実施される事を期待します。」と病院関係者に対して激励の言葉をかけました。

また、保健・人口省やマラウイ・キリスト教保健協会、民間セクターおよび支援者に対して、プロジェクトの成功に必要な支援を呼びかけました。式典に出席した本プロジェクト担当の建設業者は、柳沢大使とモントフォート病院関係者に対して、契約期間内に高品質の建設工事を行うことを約束しました。